



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization

安心の地域医療を支える



INDEX

- 04 | JCHOについて CI
- 05 | JCHOの施設
職員数
- 06 | 診療事業 5疾病・6事業
- 07 | 救急医療の取組み
予防・健康管理事業
- 08 | 地域包括ケアの取組み
災害への対応
- 09 | 新型コロナウイルス感染症への対応
- 10 | 地域医療における医療連携
- 調査研究事業
- 11 | 高性能医療機器の積極的な導入
- 12 | 教育研修事業 「教育のJCHO」を目指して
研修体系
- 13 | 総合診療医の育成
看護師の特定行為研修の推進
- 14 | 経営パワートレーニング
看護学校
- 15 | 診療現場発の英知を磨くJCHO学会
- 16 | ワーク・ライフ・シナジーの追求
- 17 | 健全な財政状況・経常収支
- 18 | 施設一覧

安心の地域医療を支える



JCHOの使命

地域医療・地域包括ケアの要として超高齢化社会における多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます

地域医療の課題解決・情報発信を通じた全国的な地域医療介護の向上を図ります

地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します

独立行政法人として、社会的説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います

JCHOの理念

我ら全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、
関係機関と連携し
地域医療の改革を進め
安心して暮らせる
地域づくりに貢献します



理事長 山本 修一

JCHOについて

- 設立時期 2014年4月1日
- 設立目的 独立行政法人地域医療機能推進機構は、病院、介護老人保健施設等の運営を行い、救急医療・災害時における医療・へき地医療・周産期医療・小児医療、リハビリテーションその他地域において必要とされる医療機能の確保を図り、もって公衆衛生の向上・増進や住民福祉の増進に寄与することを目的とする。
- 設立根拠 独立行政法人地域医療機能推進機構法 (平成十七年法律第七十一号)



CI

JCHO

略称

独立行政法人地域医療機能推進機構の略称は、機構の英語表記である Japan Community Healthcare Organizationの頭文字をとりJCHO (読み方:ジェイコー)としています。



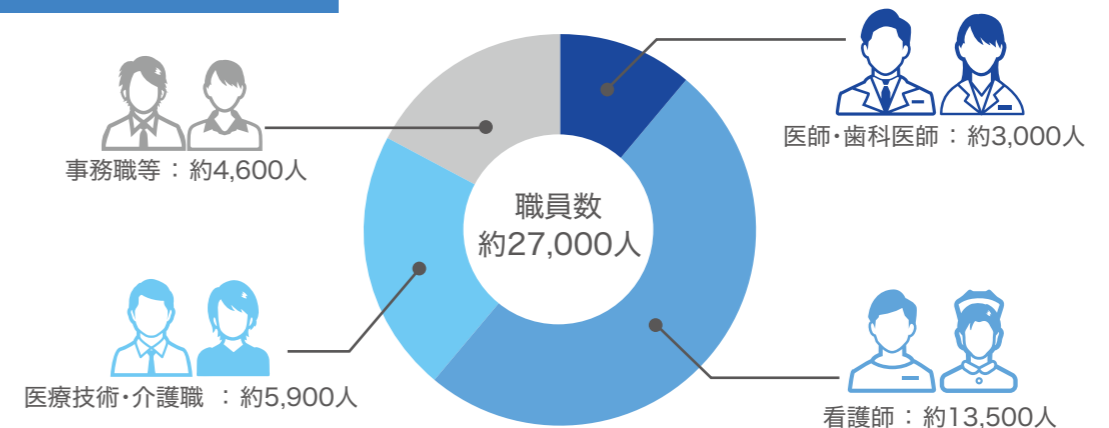
シンボルマーク

略称JCHOの造形をモチーフに、地域医療・地域包括ケア連携の「要」として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、人々の生活を支える躍動感・ひろがりデザインしたものです。

JCHOの施設



職員数 2023年4月1日現在



5 疾病・6 事業

地域医療に貢献するため、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病及び精神疾患の5疾病並びに救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療、へき地医療及び新興感染症対応の6事業について、各病院の機能や特性等を踏まえ、地域で求められる役割を確実に果たすよう取り組んでいます。

5 疾病



6 事業

救急医療

我が国の救急医療の需要は増加傾向にあり、この傾向は今後も続くことが予想されています。地域の皆さまが必要なときに適切な医療を受けられるよう、JCHOは救急医療に積極的に取り組んでおり、全病院で救急搬送患者の受け入れ体制を確保しています。

救命救急センター 2施設 救急告示病院 56施設

大規模災害が発生した場合は国や自治体と連携し、医療班やDMATを被災地に派遣し医療支援を行っています。

- | | |
|--------|--|
| 災害時の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ●2019年8月の前線に伴う大雨: JRATの要請に応じて職員3名派遣 ●2019年9月台風15号: 国等の要請に応じて職員4名派遣 ●2020年7月豪雨: 県の要請に応じてDMAT2班派遣 ●2021年7月伊豆山土砂災害: 県の要請に応じてDMAT1班派遣 |
|--------|--|

災害拠点病院 13施設 災害支援病院 19施設

災害医療

周産期医療

出生年齢の上昇、分娩取扱施設の集約化が進む中、妊産婦さんが安心できる医療体制を確保することの重要性が高まっています。JCHOは、地域で求められる役割に応じた周産期医療を提供しています。

地域周産期母子医療センター認定病院 6施設 ハイリスク分娩取扱病院 12施設

小児医療

子どもたちが必要なときに適切な医療を受けられることが大切です。JCHOでは、小児救急の受け入れなどを積極的に行っています。子どもたちの健康を守り、子育て世代に安心を提供しています。

小児救急医療(輪番制・夜間休日対応) 21施設

へき地医療

人口減少・高齢化等が進む中、へき地への医療の確保は地域医療の中でも重要な問題の一つです。JCHOは、自治体等と調整しながら、へき地等の診療の支援として巡回診療などを行っています。

へき地医療拠点病院 5施設 へき地診療所の指定管理 1施設 離島・へき地等への医師派遣病院数 15施設

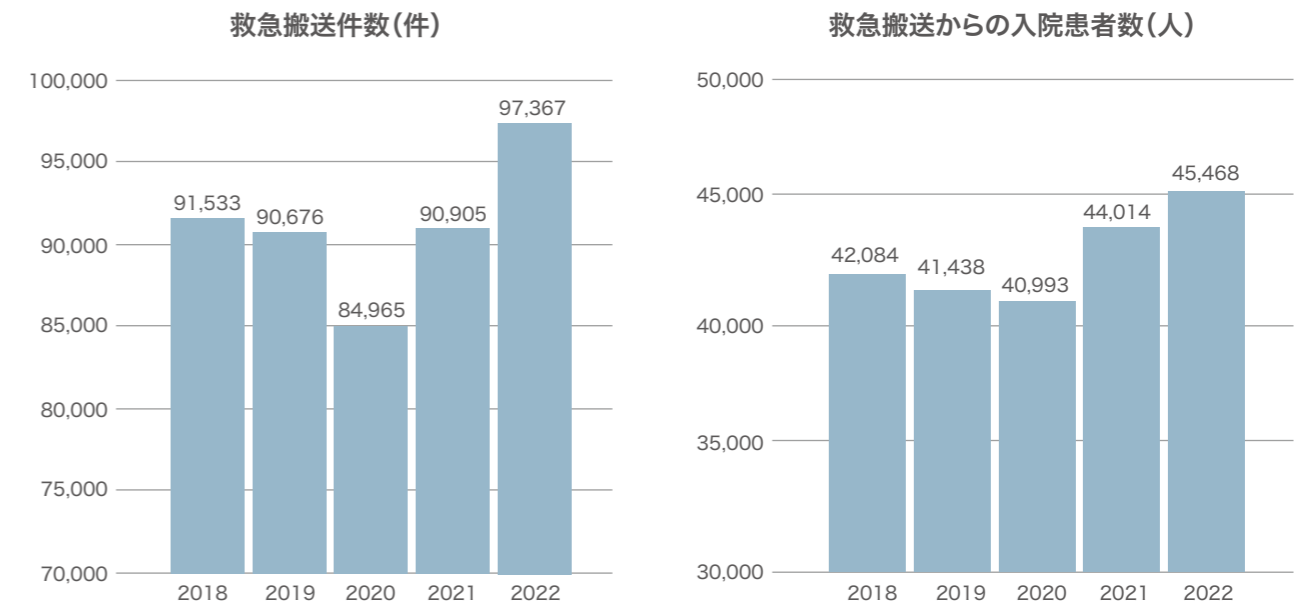
新感染症対応

新興感染症発生・まん延時は、国や自治体と連携し、感染症医療及び通常医療の提供体制の確保を図ります。(2024年度より開始)

救急医療の取り組み

JCHOは地域の医療を守るために、救急医療に積極的に取り組んでいます。全病院で救急搬送患者の受入体制を確保しており、多くの病院が2次救急輪番制又は休日・夜間輪番制病院となっています。各病院では、院長主導による未応需事案の徹底的な検証やベッドコントロールの徹底による救急患者の受け入れ用の病床の確保など、病院一丸となって救急医療体制の充実に努めています。コロナ禍においても、多くの救急搬送患者を受け入れました。JCHOは地域の救急医療提供体制の確保に貢献しています。

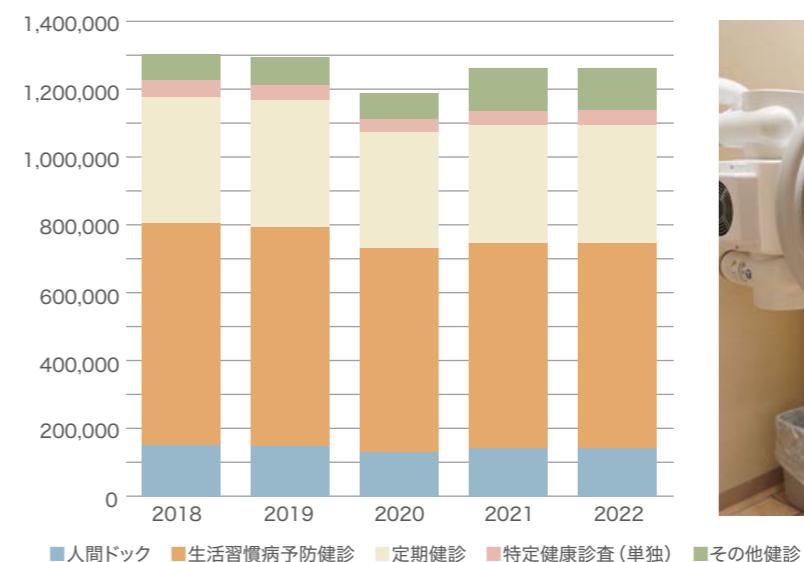
救急搬送件数



予防・健康管理事業

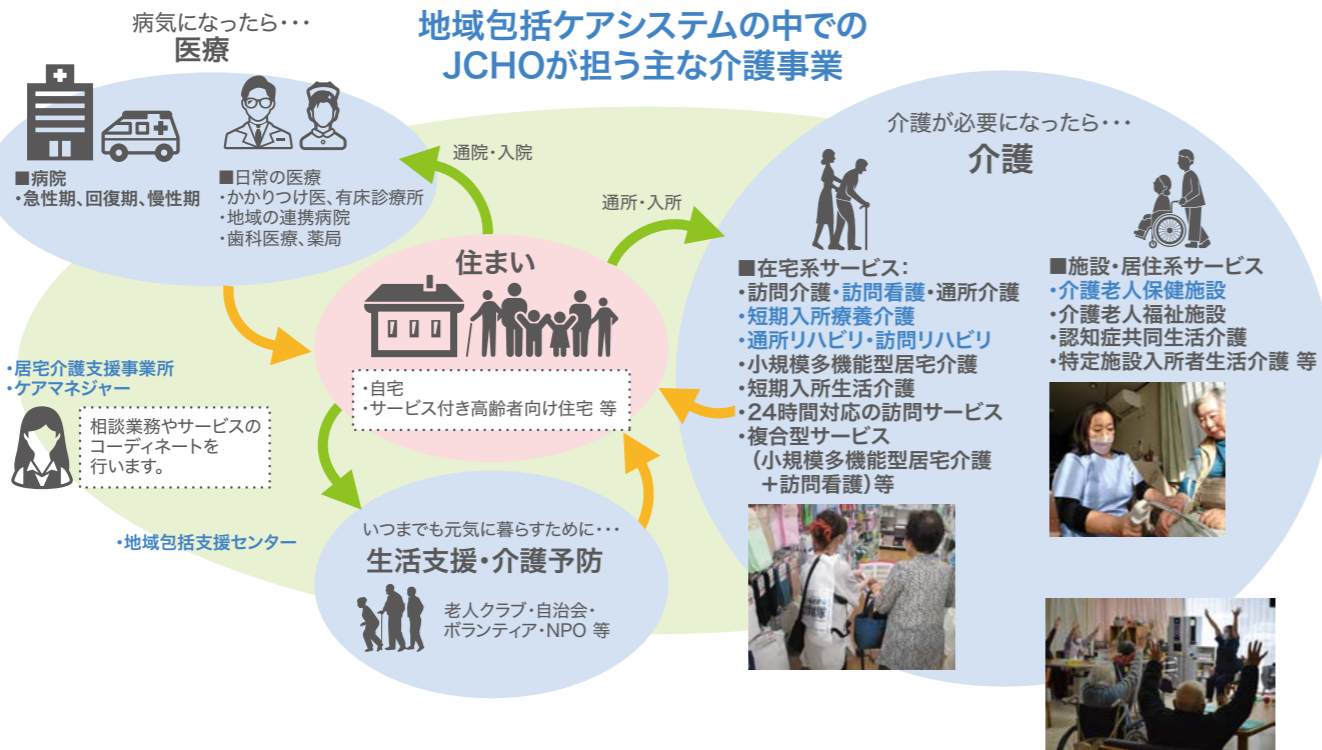
疾病の早期発見・早期治療に資するため、全ての病院で、特定健康診査・特定保健指導を含む健康診断や人間ドック等を実施しています。健康診断受診者のニーズの多様化に対応するため、巡回健診や土日祝日の健診を充実させるとともに、オプション検査を豊富に取り揃えており、地域住民が主体的に健康の維持増進を図ることができるよう、健診の実施体制を整えています。

また、地域住民の介護予防や健康の意識を高めるため、地域住民のニーズを踏まえた公開講座や生活習慣病の予防等に関する健康教室を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施しています。



地域包括ケアの取組み

高度急性期機能から回復期・慢性期まで幅広い機能を有する病院とともに、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等を有するJCHOの特長を活かし、多職種が協働して医療及び介護の両面のサービスを提供しています。また、地域住民の多様なニーズに応え、疾病を抱えても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう、地域の医療機関及び行政機関等と積極的に連携を図りながら、地域包括ケアシステムの推進に力を入れています。



災害への対応

JCHOは、災害対策基本法に基づき指定公共機関に指定されており、災害発生時に求められる医療を的確かつ円滑に提供できるよう取り組んでいます。災害が発生した場合には、JCHOの全国ネットワークを活用し、21班の医療班や災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣できる体制をとっています。

JCHOの災害医療体制

「拠点病院」(各地域における災害医療の拠点となる病院)を以下12病院指定しています。拠点病院を中心に、災害発生時に必要な医療を提供する体制を整備しています。

北海道病院、仙台病院、東京新宿メディカルセンター、東京山手メディカルセンター、金沢病院、中京病院、大阪病院、星ヶ丘医療センター、徳山中央病院、りつりん病院、九州病院、熊本総合病院



医療班

拠点病院には、「拠点病院医療班」を常時配置しています。拠点病院医療班は、災害発生初期に被災地へ派遣され、避難所等での医療活動を行います。

続いて、拠点病院以外の全病院に配置している「医療班」を派遣し、被災地の避難所等で継続的な医療活動を行います。



新型コロナウイルス感染症への対応

チームJCHOで取り組む新型コロナへの対応

新型コロナウイルス感染症については、2020年2月のクルーズ船、羽田国際空港検疫所における検疫等への協力から現在に至るまで、病床確保、コロナ専用病棟やコロナ専用病院の運営、看護師派遣など、厚生労働省や各自治体等からの依頼に対して一貫して積極的に協力しています。JCHOのネットワークを生かした病院間の職員派遣などの工夫を凝らし、国や自治体等からの要請に応え続けており、これまでにJCHO全体で、入院患者約3万人、外来患者約32万人を受け入れています。

全国各地への職員派遣/地域の医療施設等の支援

また、JCHO病院での新型コロナ患者の受け入れだけでなく、全国各地の自治体が設置する宿泊療養施設等へ医療従事者を応援派遣したり、地域の他法人の医療施設・高齢者施設等で感染対策について研修を行うなど、各地域における新型コロナ対策にも積極的に貢献しています。

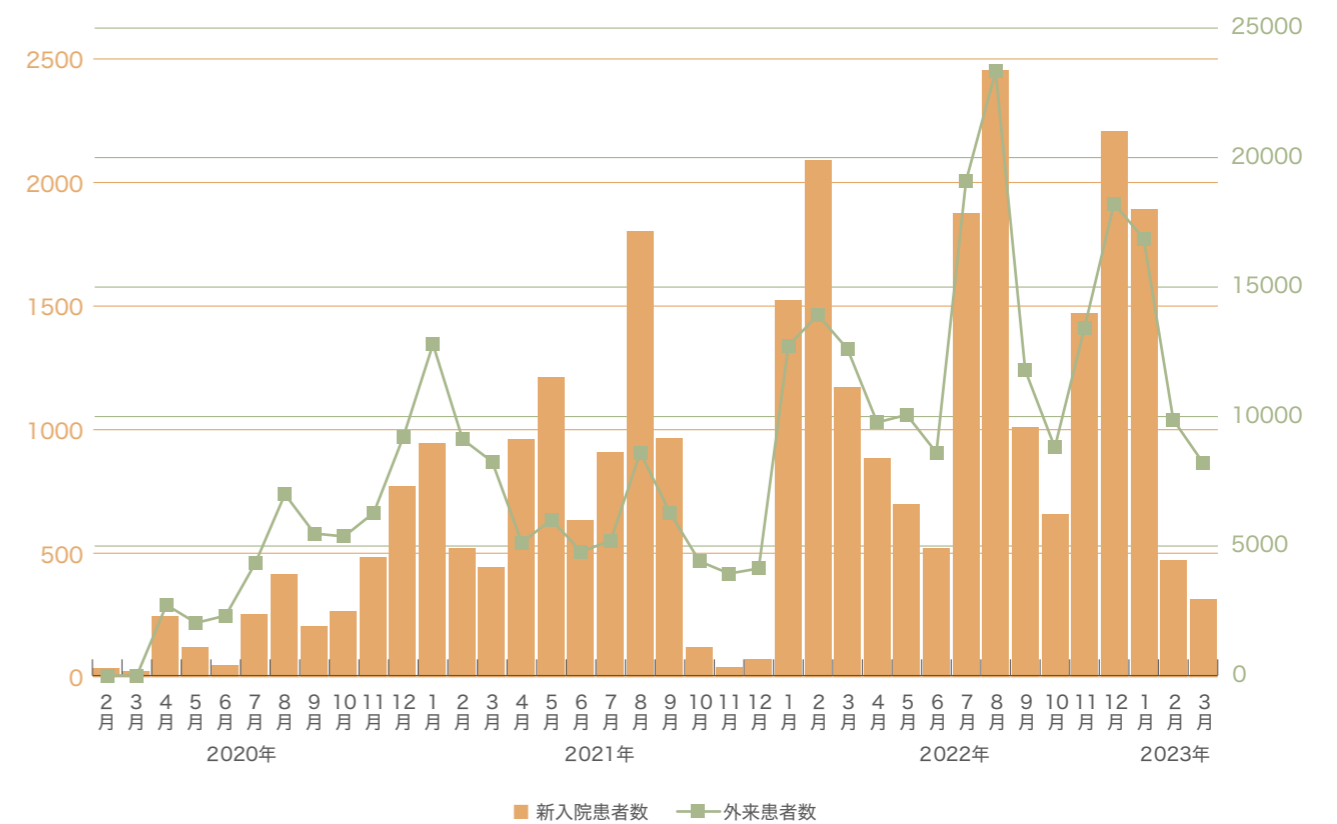
地域における新型コロナワクチン接種への協力

さらに、地域の住民や医療従事者等へのワクチン接種について積極的に協力しており、2022年度末時点で延べ約69万回のワクチン接種を実施しました。

職員の派遣実績	患者の受け入れ実績
<ul style="list-style-type: none"> ●クルーズ船への派遣：医師4人日、薬剤師29人日、看護師20人日 ●検疫所への派遣：医師29人日、看護師99人日 ●国や自治体等からの要請に基づく臨時医療施設や宿泊療養施設等への派遣：医師668人日、薬剤師158人日、看護師3,656人日、事務職員5人日 	<ul style="list-style-type: none"> ●入院患者：30,707名 ●外来患者：320,697名 (2020年2月～2023年3月)



新型コロナウイルス感染症受入の推移(件)



地域医療における医療連携

JCHOの病院は、地域における診療拠点として、拠点病院等の認定を受けており、5疾病6事業等の地域における医療提供体制の確保に大きく貢献しています。

<p>救命救急センター</p> <p>重篤な救急患者を24時間365日受け入れる医療施設(都道府県知事が指定)</p> <p>2施設</p>	<p>地域医療支援病院</p> <p>紹介患者に対する医療提供、かかりつけ医等への支援等を通じて地域医療の確保を図る病院(都道府県知事が承認)</p> <p>22施設</p>	<p>地域周産期母子医療センター</p> <p>周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設(都道府県が認定)</p> <p>6施設</p>
 <p>災害拠点病院</p> <p>災害による重篤患者の救命救急等の診療機能を有し、被災地からの患者の受け入れ等を行う病院(都道府県知事が指定)</p> <p>13施設</p>	 <p>へき地医療拠点病院</p> <p>無医地区等において巡回診療や、へき地診療所等への医師派遣や代診医派遣等を実施する病院(都道府県知事が指定)</p> <p>5施設</p>	 <p>地域がん診療連携拠点病院</p> <p>専門ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、都道府県内の各地域(2次医療圏)で中心的役割を果たす病院(厚生労働大臣が指定)</p> <p>4施設</p>

調査研究事業

JCHOの特長は、予防・急性期から慢性期の医療・介護・在宅に至るまで、幅広いサービスを提供することで、地域包括ケアシステム全般を担っていることです。この特長を活かし、各種調査研究をはじめ、JCHOの全国ネットワークを活用した多施設共同研究も推進しています。2022年度は、既採択課題を含め15課題を実施しています。JCHOの理念を実現し、地域の中で求められる予防・医療・介護を提供するため、直面している課題を検討し、その解決に役立つ根拠を確立することを目指しています。

<2022年度終了した研究課題例>

- ・外来がん化学療法における薬剤師の介入を対象とした多施設共同調査とその評価
- ・特定行為研修修了者によるインスリン量調節の効果：持続血糖モニタリングを用いた検証
- ・体組成計の活用による特定行為における体液量評価の標準化と、特定行為研修修了看護師の実践力向上に向けた活用方法の確立

高性能医療機器の積極的な導入

JCHOでは地域医療に対応するため、各病院の特性を生かしたさまざまな医療機器を導入しています。

<p>320列CT (徳山中央病院)</p> <p>2022年3月6日取得</p> 	<p>ダヴィンチXi (諫早総合病院)</p> <p>2022年12月3日取得</p> 
<p>CT検査は、治療前がんの有無や広がり、他の臓器への転移がないかを調べたり、治療の効果を判定したり、治療後の再発がないかを確認するなど、さまざまな目的で行われる精密検査です。体の周囲からX線をあてて、体中の吸収率の違いをコンピューターで処理し、体の断面を画像にします。検査の目的によっては、造影剤を使用する場合もあります。</p>	<p>メスや鉗子を取り付けるアームと3D画像モニターを備えた、医師の手術を支援するロボットです。通常の開腹手術に比べて傷口が小さいため、出血量が少ない、術後の痛みが軽減できる、早期の社会復帰が期待できるなど患者さんの負担が少ない手術を提供することができます。</p>
<p>次世代内視鏡システム「EVIS X1」(内視鏡センター)</p> <p>(熊本総合病院) 2023年2月13日取得</p> 	<p>リニアック(高度放射線治療装置) (中京病院)</p> <p>2023年7月4日取得</p> 

内視鏡は、消化管内部を直接・リアルタイムに観察することができるため、検査精度が高く、食道や胃、大腸の検査方法として広く普及しています。また、何らかの病変が見つかった場合には、その病変を採取して病理検査を行ったり、ポリープ切除や誤飲した異物の摘出をしたりなど、様々な治療を行うことができます。これにより、開腹することなく消化管病変の治療が可能となるため、開腹手術に比べて患者さんの身体的負担が軽減されます。

通常照射からIMRT(強度変調放射線治療)、定位放射線治療(SRS/SRT)まで1台でカバーできるため、幅広い疾患に対応できる高精度の高エネルギー放射線治療装置です。疾患によっては放射線治療単独で手術と同等の治療成績を得られる根治的な治療や、手術が難しい患者さんや手術では臓器機能の温存が難しい患者さんに対する根治的治療の他、がん組織を手術前に小さくする術前放射線治療、術後に残った病変に対して行う術後放射線治療、術後の再発予防のための放射線治療など、がん治療の一翼を担います。また、治療による身体への負担が少ないため外来通院治療が可能で、患者さんのQOLを維持できます。患者さんの状態や治療の目的、価値観に応じた柔軟な対応ができることが最大の特徴です。

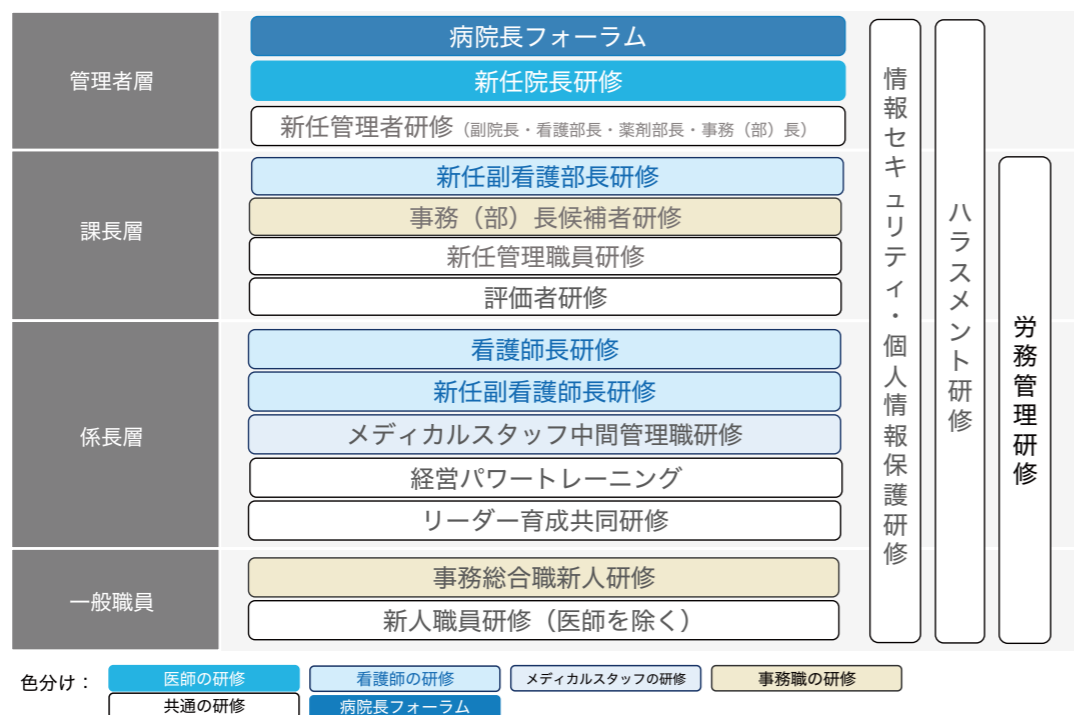
「教育のJCHO」を目指して

JCHOでは、職員の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等の習得、その他職務遂行に必要な能力、資質の向上を図ること、さらには職種間や地域間の横断的な知見の交換・人的ネットワーク形成・親交などを目的として、さまざまな職員研修を実施しています。人手不足が深刻になりつつある中、タスク・シフト/シェア、チーム医療、経営改善を推進できる人材はJCHOの財産の柱であり、人材の育成に強力に取り組むことにより、「教育のJCHO」を築いていく方針としています。

研修体系

新規採用時、配属時から、各階層にわたるさまざまな層別の研修を通じて、職員のキャリア形成を支援しています。また、専門職・医療チームの一員としての責任・使命感を持ち、興味を持つ分野・領域において、主体的に学習や組織改革に参画できる人材を育成しています。病院間異動の機会や各地の職員との研修を通じた交流によって、経験の幅を広げ多くの仲間が作れるのもJCHOの魅力の一つとなっています。

階層別及び一般研修



専門研修

多職種協働	感染管理担当者研修 医療安全管理担当者研修 災害拠点病院医療班研修 病院医療班研修 介護老人保健施設における多職種連携 臨床研究倫理研修 乳房超音波講習会 医療安全管理者養成研修
看護師	認定看護管理教育課程 (ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル) 保健師助産師看護師実習指導者講習会 中堅看護師研修 在宅療養支援研修 認知症看護研修
事務職	経理事務実務者研修 人事給与業務研修 会計監査人による簿記・内部統制研修

総合診療医の育成

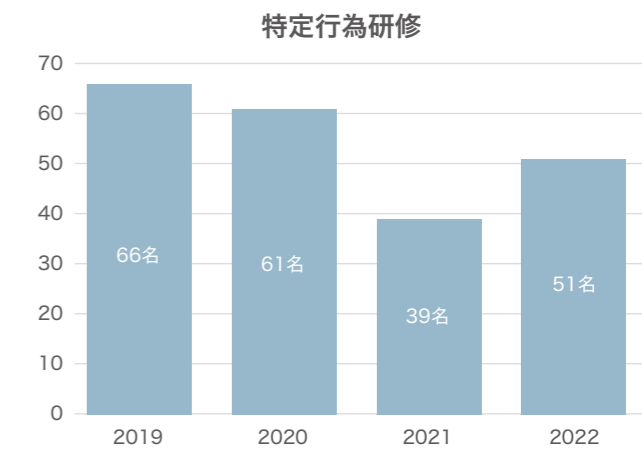
JCHOが担う地域医療の場では、多様な病態に対する基本的な診療能力を備え、患者の初期対応及び管理を適切に行うことができる地域医療の実践病院で活躍する医師の存在が重要であることから、総合診療医の育成に力を入れています。専攻医を対象としたWebでの勉強会や、総合診療医の育成に携わる指導医を目指す医師の支援などを通じて、地域医療の要となる医師を育成しています。そのため、総合診療専門研修の指導を行う指導医講習会の受講促進や、各施設に所属している総合診療医・指導医間の情報共有やネットワーク作りに取り組んでいます。

看護師の特定行為研修の推進

特定の看護分野において、高度な専門知識・技術を習得し、熟練した看護を提供すると同時に、看護職者のケア技術の向上、チーム医療の推進に寄与することが出来る看護師の育成を目的に、特定行為研修を実施しています。

研修を修了した看護師は、自ら患者の状態を見極め、医師の判断を待たずに、迅速な対応が可能となり、安全かつ良質な医療と看護の提供に貢献しています。

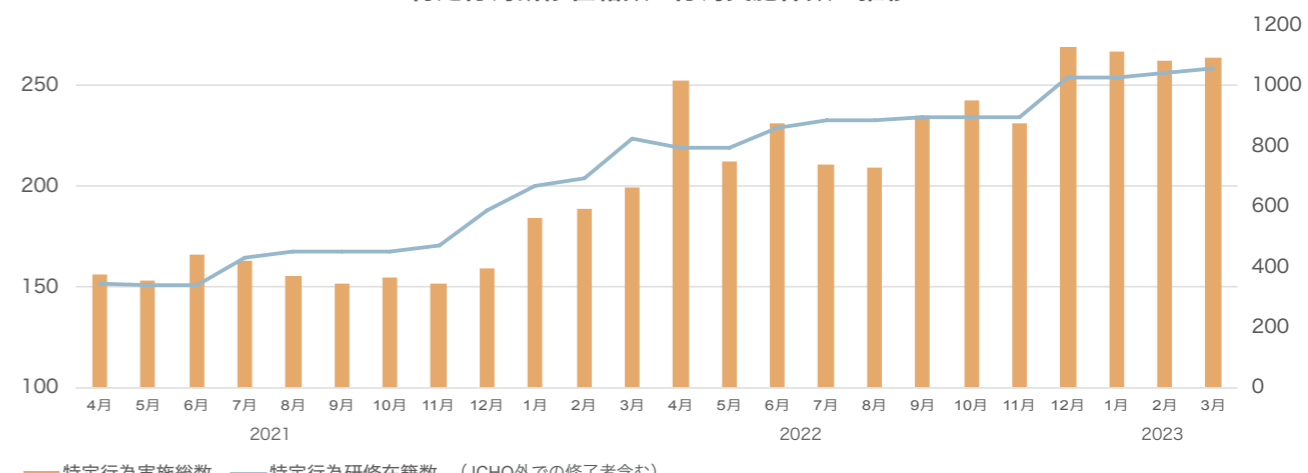
- 活動区分
- ・透析管理関連
 - ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連
 - ・創傷管理関連 等(全21区分)



特定行為研修修了者(人)2023年3月末時点



特定行為研修在籍数と行為実施件数の推移



JCHO学会
診療事業
調査研究事業
高性能医療機器
教育研修事業
JCHO学会
ワーク・ライフ・シナジーの追求
財政状況・経常収支
施設一覧

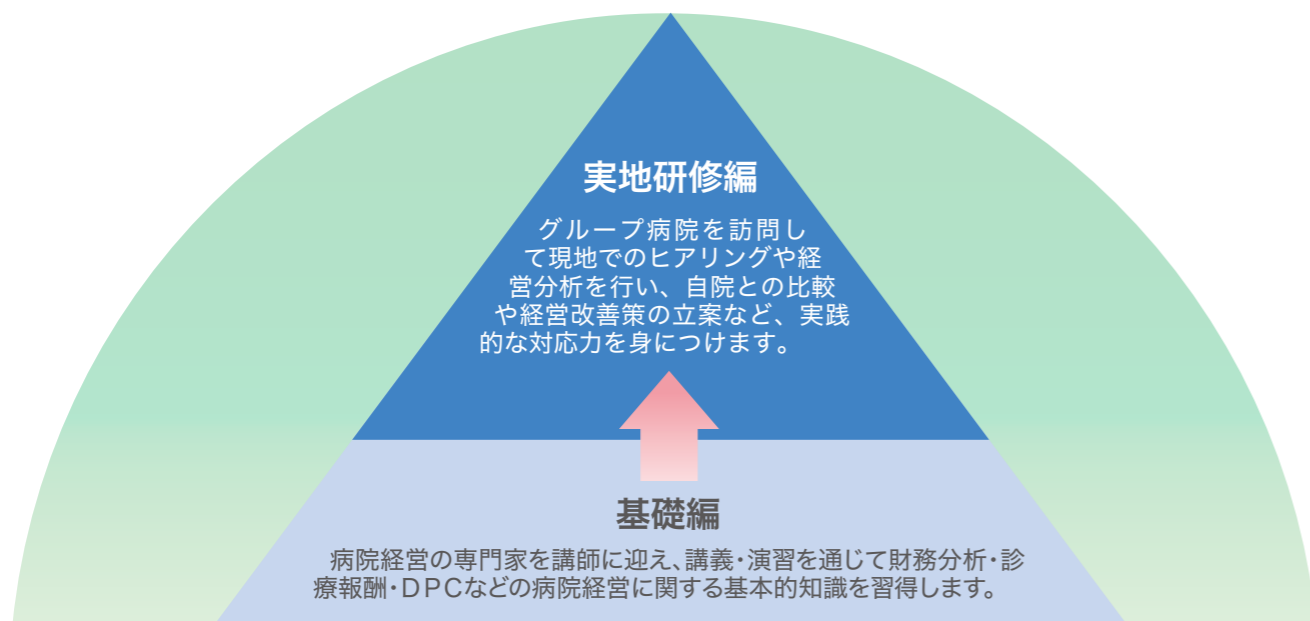
JCHO学会
診療事業
調査研究事業
高性能医療機器
教育研修事業
JCHO学会
ワーク・ライフ・シナジーの追求
財政状況・経常収支
施設一覧

経営パワートレーニング

JCHOは財政的に自立した運営の下、医療を取り巻く環境の変化に対応しつつ健全な運営を行う観点から、自院の現状を正しく理解し、財務分析等に基づく経営戦略を立案できる人材の育成に力を入れています。

様々な部門を有する病院組織において経営改善を進めるためには、事務部門のみならず各部門に経営のセンスを持つ人材を配置することが重要です。このため、令和5年度より事務職に限らず看護師やメディカルスタッフ等にも対象を広げ、組織一体となって経営改善を進められる体制づくりを行っています。

高度急性期から慢性期・在宅支援まで、様々な機能の病院を有するJCHOグループの特色を活かし、地域包括ケアを支える幅広い領域において、実践的な経営スキルを身につけることができます。



カリキュラム

【基礎編】研修内容	【実地研修編】研修内容
財務分析(講義)	キックオフミーティング
経営学のフレームワーク(講義)	進捗確認ミーティング(1回目)
財務分析(演習)	進捗確認ミーティング(2回目)
医療政策の方向性・診療報酬への実践対応(講義)	病院ヒアリング(急性期病院)
経営学のフレームワーク(演習)	病院ヒアリング(ケアミックス)
DPCデータ等を活用した戦略的病院経営(講義)	病院ヒアリング(慢性期病院)
医療政策の方向性・診療報酬への実践対応、DPCデータ等を活用した戦略的病院経営(演習)	進捗確認ミーティング(3回目)
参加者による自院のプレゼンテーション	最終報告リハーサル研修 分析結果報告会

看護学校

看護専門学校では、併設の病院を中心としたJCHO病院とともに、習熟度に応じたきめ細やかな教育を行うとともに、在学中だけでなく卒業後にも力を入れ、JCHOの使命である地域医療・地域包括ケアの要として活躍できる看護師を育成しています。



東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校



大阪病院附属看護専門学校

診療現場発の英知を磨くJCHO学会

一般社団法人地域医療機能推進学会では、設立目的であるJCHO等に勤務する職員(学会会員)の資質の向上、地域医療に関する調査研究及び教育の促進を図り、もって地域医療の向上及び医学・医療の発展に寄与するために各種事業を実施しています。また、会員特典として福利厚生制度を各種行なっています。

本会が主催する主な事業に「JCHO地域医療総合医学会」があります。これまでに7回開催し、毎回2千名を超えるJCHO職員の皆様が職種横断的に一堂に会し日頃の研究成果を発表し討議する機会となっています。

また、「地域医療機能推進学会セミナー」は、各職種における技能・技術面の研鑽等を目的に実施するとともに、職種間の交流の場となるよう努めています。

これらの事業は本会に設置されている職種ごとの組織である9部会(院長、事務、看護、薬剤、放射線、臨床検査、リハビリ、栄養、臨床工学の各部会)と連携を図り実施しています。

第8回
JCHO地域医療総合医学会
The 8th Annual Meeting of Japan Community Health care Society in MIE



特別講演
宮本 亜門
演道家



会員
住田 安弘
JCHO
四日市羽津医療センター 院長

ポストコロナの地域医療戦略








会期 2023年12月8日(金)・9日(土)

会場 三重県総合文化センター 〒514-0061 三重県津市一身田上津部町1234

事務局: 一般社団法人 地域医療機能推進学会 〒108-0074 東京都港区高輪3-22-12
TEL 03-3445-5125 FAX 03-3445-5110 E-mail info@jchs.or.jp

<https://www.jchs.or.jp/>





ワーク・ライフ・シナジーの追求

JCHOでは、職員一人ひとりが望むライフスタイルに沿って、仕事と生活を“当たり前”に両立できるよう、働きやすい職場づくりを行っています。

充実した休暇制度

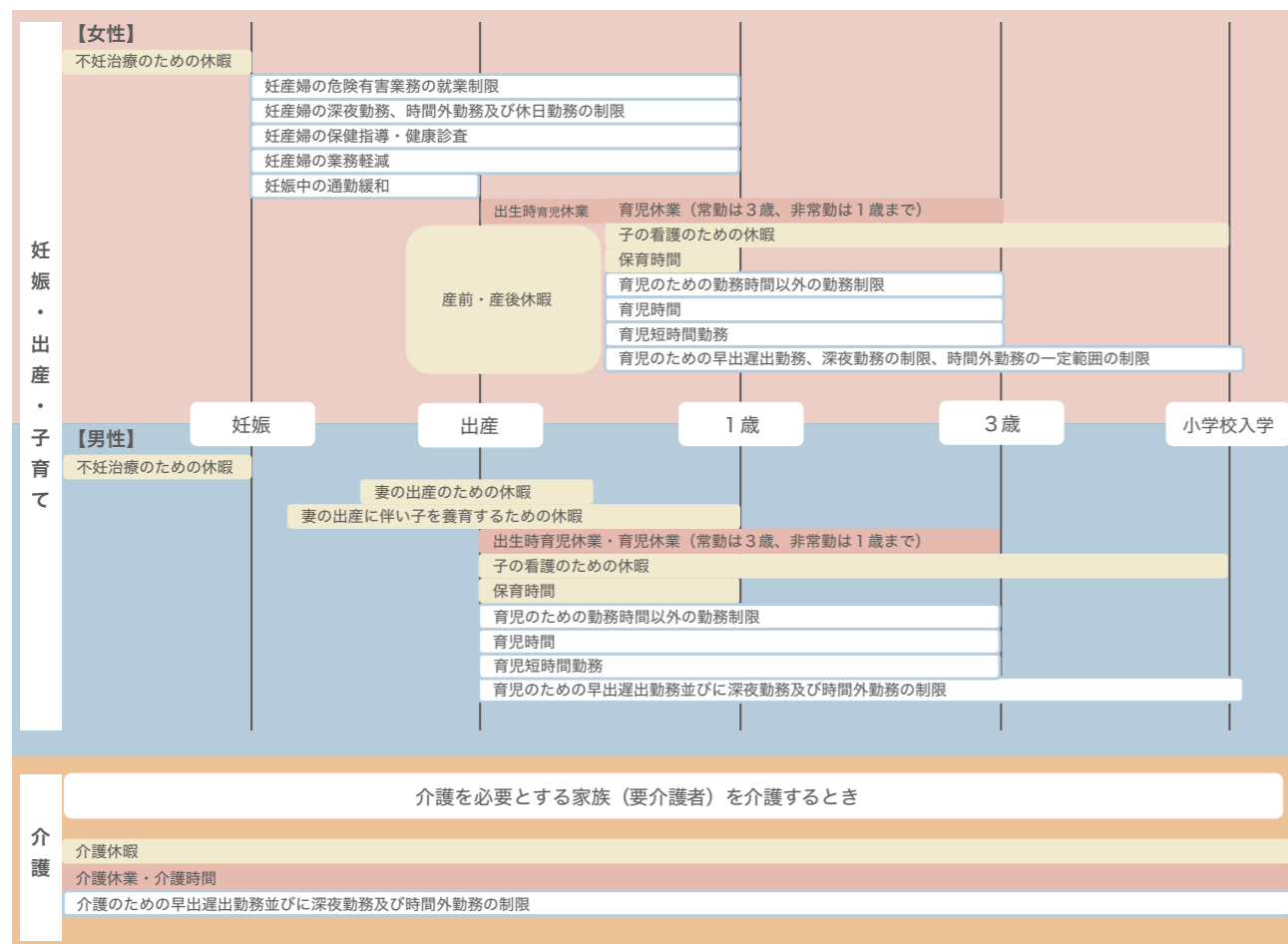
年次有給休暇のほか、全18種の特別休暇や有給の病気休暇(非常勤職員は無給)を設けています。

■主な休暇制度

- ・年次有給休暇(毎年最大20日付与)
- ・夏期における盆等の行事、心身の健康維持や家庭生活充実のための休暇
- ・結婚休暇
- ・忌引休暇 等

妊娠・出産・子育て・介護の支援制度

下記の各種制度の他、27病院に院内保育所を設置し、一部では夜間保育も実施しています。



医師の働き方改革

2024年4月から医師の時間外・休日労働の上限規制が適用されます。その水準には、A・B・C水準とあり、A水準は年間の時間外・休日労働時間が960時間までとなります。JCHOにおいては、90%以上の病院がA水準となる予定です。

ハラスメント防止の徹底

全ての病院において、「STOPハラスメント許しません!」をスローガンにハラスメントに関する職員研修の実施、ポスター等による職員への注意喚起や院内相談員を配置するなど、ハラスメントの防止を目的とした様々な取り組みを行っています。

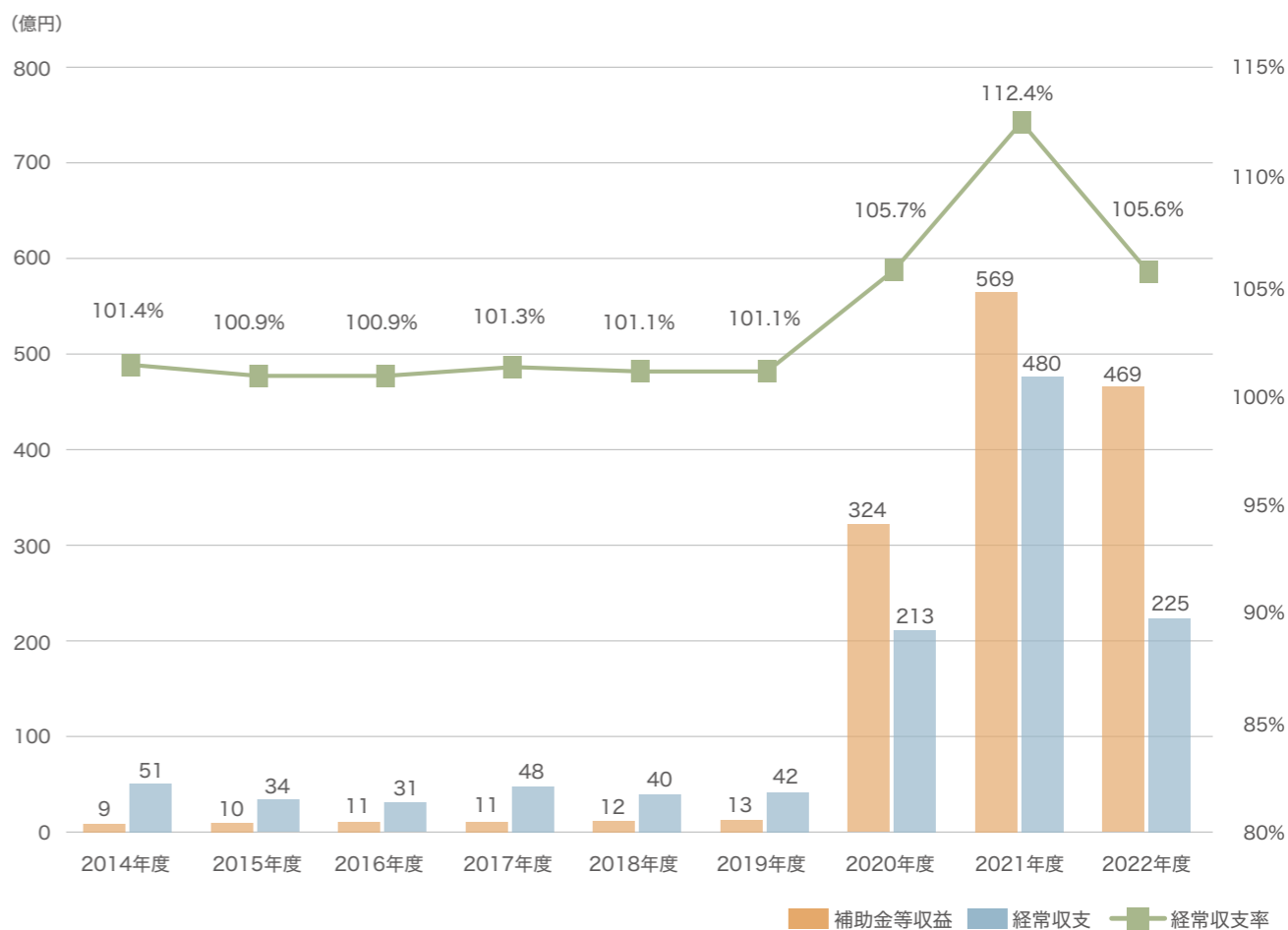
健全な財政状況・経常収支

JCHOは、2014年度の設立以来、現在まで毎年経常収支率100%を超える黒字経営を続けています。

2014年度から2019年度までの経常収支は30億円から50億円の範囲で推移していますが、2020年度以降は公的医療機関として行政に協力し、新型コロナウイルス感染症へ対応してきた結果、新型コロナウイルス感染症関連補助金(※)により大幅に増加しています。なお、これにより積み上がった利益剰余金(積立金)のうち、324億円を防衛力強化の財源として2023年度中に国庫納付することとなっています。

一方で、今後の人口減少や患者の受療行動の変化による医療ニーズの縮小、地域医療構想や医師の働き方改革の影響など医療を取り巻く環境が大きく変化していき、JCHOもこれまでとは異なる厳しい環境に置かれることが予想されることから、地域において必要とされる医療及び介護を提供し続けるため、各病院機能の検証や地域の医療機関との連携も含めた経営改善に集中的に取り組む、JCHO全体で環境の変化を乗り越えられる経営基盤の整備を進めています。

※新型コロナウイルス感染症関連補助金…コロナ患者を受け入れる病床の確保や看護師等の医療従事者派遣などに対する補助金

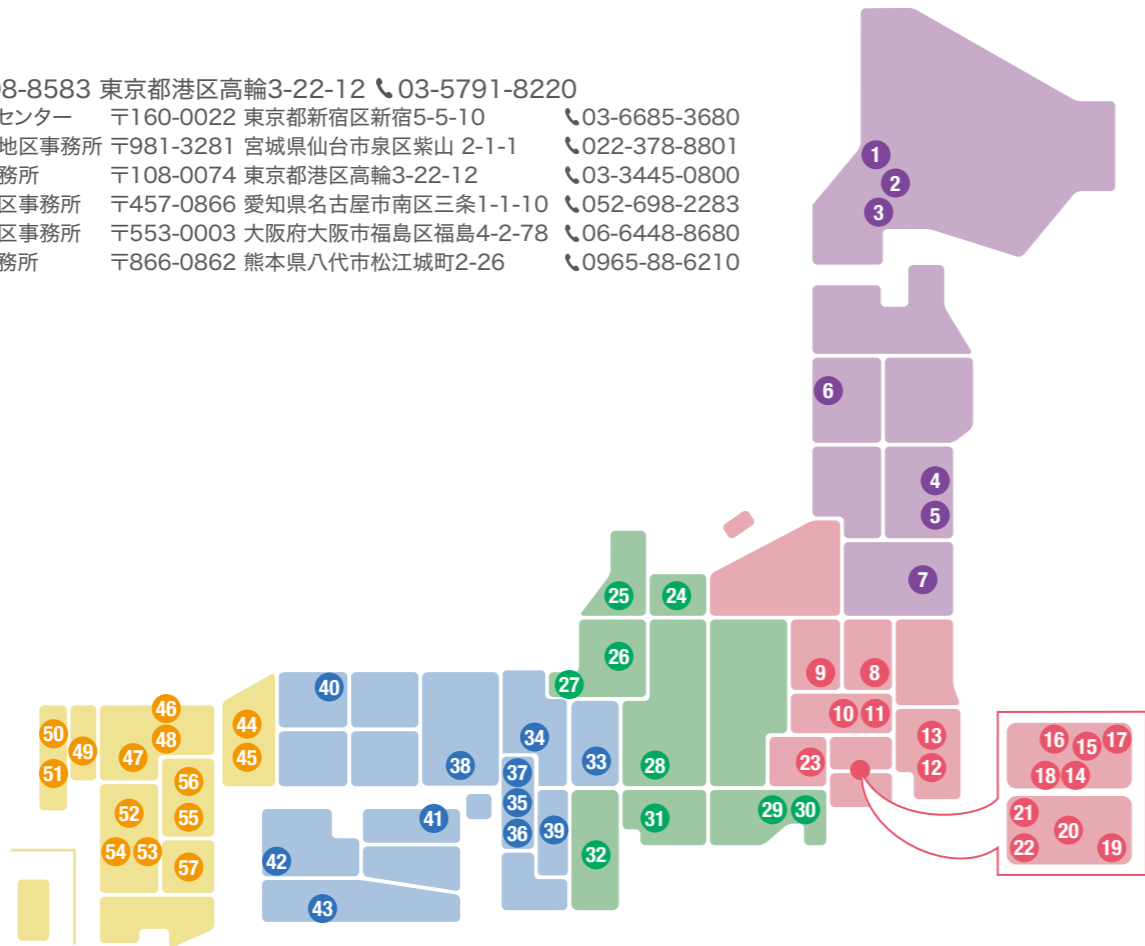


	第1期中期計画期間(2014~2018年度)					第2期中期計画期間(2019~2023年度)			
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収支率	101.4%	100.9%	100.9%	101.3%	101.1%	101.1%	105.7%	112.4%	105.6%
経常収支	51億円	34億円	31億円	48億円	40億円	42億円	213億円	480億円	225億円
経常収益	3,586億円	3,656億円	3,638億円	3,690億円	3,725億円	3,755億円	3,937億円	4,354億円	4,253億円
うち補助金等収益	9億円	10億円	11億円	11億円	12億円	13億円	324億円*	569億円*	469億円*
経常費用	3,536億円	3,622億円	3,607億円	3,642億円	3,685億円	3,713億円	3,724億円	3,874億円	4,029億円
総収支	▲60億円	2億円	2億円	29億円	22億円	32億円	201億円	442億円	215億円

※うちコロナ関連補助金 2020年:311億円、2021年:550億円、2022年:451億円

JCHO施設一覽

- 本部 〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎03-5791-8220
- JCHO研修センター 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-10 ☎03-6685-3680
- 北海道東北地区事務所 〒981-3281 宮城県仙台市泉区紫山 2-1-1 ☎022-378-8801
- 関東地区事務所 〒108-0074 東京都港区高輪3-22-12 ☎03-3445-0800
- 東海北陸地区事務所 〒457-0866 愛知県名古屋市中区三條1-1-10 ☎052-698-2283
- 近畿四国地区事務所 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78 ☎06-6448-8680
- 九州地区事務所 〒866-0862 熊本県八代市松江城町2-26 ☎0965-88-6210



- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| 九州地区
44 下関医療センター
45 徳山中央病院
46 九州病院
47 久留米総合病院
48 福岡ゆたか中央病院
49 佐賀中部病院
50 松浦中央病院
51 諫早総合病院
52 熊本総合病院
53 人吉医療センター
54 天草中央総合病院
55 南海医療センター
56 湯布院病院
57 宮崎江南病院 | 近畿四国地区
33 滋賀病院
34 京都鞍馬口医療センター
35 大阪病院
36 大阪みなと中央病院
37 星ヶ丘医療センター
38 神戸中央病院
39 大和郡山病院
40 玉造病院
41 りつりん病院
42 宇和島病院
43 高知西病院 | 東海北陸地区
24 高岡ふしき病院
25 金沢病院
26 福井勝山総合病院
27 若狭高浜病院
28 可児とうのう病院
29 桜ヶ丘病院
30 三島総合病院
31 中京病院
32 四日市羽津医療センター | 関東地区
8 うつのみや病院
9 群馬中央病院
10 さいたま北部医療センター
11 埼玉メディカルセンター
12 千葉病院
13 船橋中央病院
14 東京高輪病院
15 東京新宿メディカルセンター
16 東京山手メディカルセンター
17 東京城東病院
18 東京蒲田医療センター
19 横浜中央病院
20 横浜保土ヶ谷中央病院
21 相模野病院
22 湯河原病院
23 山梨病院 | 北海道東北地区
1 北海道病院
2 札幌北辰病院
3 登別病院
4 仙台病院
5 仙台南病院
6 秋田病院
7 二本松病院 |
|--|---|---|---|---|



1 北海道病院

☎011-831-5151 病床数 358床
〒062-8618 北海道札幌市豊平区中の島1条8-3-18

- 質の高い医療を地域へ提供
- ハイリスク妊娠・出産に対応
- 健康管理センター・介護老人保健施設併設

2 札幌北辰病院

☎011-893-3000 病床数 276床
〒004-8618 北海道札幌市厚別区厚別中央2条6-2-1

- 地域の医療機関と協力し、質の高い医療を提供
- 併設の健康管理センターでは各種健康診断が可能
- 充実した研修・教育体制で医療従事者の育成を図る

3 登別病院

☎0143-80-1115 病床数 110床
〒059-0598 北海道登別市登別東町3-10-22

- 365日24時間整形外科疾患への対応
- (通所・訪問)リハビリ、訪問看護併設
- 健康管理センター併設、各種健診を提供

4 仙台病院

☎022-378-9111 病床数 384床
〒981-3281 宮城県仙台市泉区紫山2-1-1

- 腎・泌尿器疾患治療の東北基幹病院
- 腎臓移植は東北有数の症例数
- 宮城大学と連携した地域医療

5 仙台南病院

☎022-306-1711 病床数 199床
〒981-1103 宮城県仙台市太白区中田町字前沖143

- 高度急性期病院との積極的な連携による急性期医療の展開
- 健康管理センター併設による保健予防活動の充実
- 地域の医療・介護・在宅・疾病予防に幅広く対応

6 秋田病院

☎0185-52-3271 病床数 163床
〒016-0851 秋田県能代市緑町5-22

- 疾病予防から介護まで地域包括ケアの要
- 求められている医療への柔軟な対応
- 専門医による人工関節・脊椎手術の提供

7 二本松病院

☎0243-23-1231 病床数 160床
〒964-8501 福島県二本松市成田町1-553

- 予防から医療・介護・在宅支援まで
- 地域の求める様々なニーズに積極対応
- 全力で地域医療を支える



8 うつのみや病院

☎028-653-1001 病床数 199床
〒321-0143 栃木県宇都宮市南高砂町11-17

- 地元密着の急性期・回復期医療
- 実績豊富な専門医療(股関節、透析、心胸、他)
- 大学病院(自治医科大学・獨協医科大学)との連携診療

9 群馬中央病院

☎027-221-8165 病床数 333床
〒371-0025 群馬県前橋市紅雲町1-7-13

- 患者さんに寄り添い信頼できる医療を提供
- 安心して子育てできる小児医療を提供
- 地域住民を支える各種健康診断を提供

10 さいたま北部医療センター

☎048-663-1671 病床数 163床
〒331-8625 埼玉県さいたま市北区宮原町1-851

- 急性期から在宅医療まで幅広く提供
- 消化器病センターを開設
- 併設の健康管理センターで各種健診を提供

11 埼玉メディカルセンター

☎048-832-4951 病床数 395床
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-3

- 地域医療支援病院として良質な医療を提供
- 病院・老健が連携した包括的サービス提供
- 安全・安心・快適な健康診断を提供

12 千葉病院

☎043-261-2211 病床数 160床
〒260-8710 千葉県千葉市中央区仁戸名町682

- 新病院が令和6年3月開院予定
- 千葉県内有数の規模を誇る透析センター
- 健康管理センター・介護老人保健施設を併設

13 船橋中央病院

☎047-433-2111 病床数 399床
〒273-8556 千葉県船橋市海神6-13-10

- 先端医療と地域医療で患者様本位の医療を提供
- 周産期母子医療センターは母体搬送数県内1位
- 内視鏡センター、健康管理センター併設

老 介護老人保健施設 学 看護専門学校 訪 訪問看護ステーション 地 地域包括支援センター 在 在宅介護支援センター 居 居宅介護支援事業所

14 東京高輪病院




☎03-3443-9191 病床数 247床
〒108-8606
東京都港区高輪3-10-11

- 専門医による適時で高品質な医療の提供
- 健診異常に即日対応可能な併設施設のメリット
- 丁寧で密な連携により地域医療に貢献

15 東京新宿メディカルセンター




☎03-3269-8111 病床数 520床
〒162-8543
東京都新宿区津久戸町5-1

- 「地域が創る病院、病院が創る地域」の実践
- 多機能病床を備えシームレスな診療の提供
- 部門を超えた多職種チーム医療の推進

16 東京山手メディカルセンター




☎03-3364-0251 病床数 418床
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-22-1

- 大腸肛門疾患と炎症性腸疾患は全国的に有名
- 産婦人科は和痛分娩を開始
- 整形外科は脊椎、膝関節、手外科が揃う

25 金沢病院




☎076-252-2200 病床数 248床
〒920-8610
石川県金沢市沖町ハ-15

- 急性期の総合病院として、地域の中核的な医療・包括ケアを担う
- 健康管理センター併設による保健予防活動の充実

26 福井勝山総合病院




☎0779-88-0350 病床数 199床
〒911-8558
福井県勝山市長山町2-6-21

- 二次医療圏唯一の公的総合病院
- 第二種感染症指定病院・災害拠点病院
- 健診・訪看・老健を併設し地域医療に貢献

27 若狭高浜病院




☎0770-72-0880 病床数 90床
〒919-2293
福井県大飯郡高浜町宮崎87-14-2

- 地域唯一の病院で地域に根差した医療提供
- 健管・老健・訪看を併設し予防～在宅まで
- 町と大学と連携し、人材の育成に取り組む

17 東京城東病院




☎03-3685-1431 病床数 117床
〒136-0071
東京都江東区亀戸9-13-1

- 整形外科、消化器診療に特化
- 健康管理センター併設、各種健診を提供
- 地域で求められる医療を提供

18 東京蒲田医療センター




☎03-3738-8221 病床数 230床
〒144-0035
東京都大田区南蒲田2-19-2

- 急性期医療から地域包括ケアまで対応
- 健康管理センター併設、各種健診を提供
- 地域に密着した良質な医療を提供

19 横浜中央病院




☎045-641-1921 病床数 250床
〒231-8553
神奈川県横浜市中区山下町268

- 基本理念「温かい心と気配りの医療」
- 地域の多様なニーズに積極的に応える
- 外国人患者の受入れも多数

28 可児とうのう病院




☎0574-25-3113 病床数 190床
〒509-0206
岐阜県可児市土田1221番地5

- 「地域の医療・福祉・健康を支える」可児とうのう病院
- 可児市唯一の公的医療機関
- 急性期・地域包括ケア病棟を備え、地域のニーズに応える

29 桜ヶ丘病院




☎054-353-5311 病床数 199床
〒424-8601
静岡県静岡市清水区桜が丘町13-23

- 静岡県清水区内科救急の3分の2を受入れ
- 地域医療連携推進法人に参加(3次病院の後方支援)
- 清水駅前に新病院が完成予定(令和6年度中)

30 三島総合病院




☎055-975-3031 病床数 159床
〒411-0801
静岡県三島市谷田字藤久保2276

- 三島市内唯一の公的医療機関
- 安全・安心、良質で思いやりのある医療を提供
- 疾病予防から治療、在宅療養を支援

20 横浜保土ヶ谷中央病院




☎045-331-1251 病床数 236床
〒240-8585
神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町43-1

- 地域医療支援病院として地域医療に貢献
- 地域の皆様に信頼される病院づくり
- 患者に寄り添うチーム医療を実践

21 相模野病院




☎042-752-2025 病床数 212床
〒252-0206
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30

- 急性期・予防医療の両面からのサポート
- NICU等により、安全な出産に対応
- 多職種の連携による力強いチーム医療

22 湯河原病院




☎0465-63-2211 病床数 150床
〒259-0396
神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-6

- 整形・リウマチ科領域で高度な医療を提供
- 地域に密着した在宅療養支援の提供
- 令和2年7月に新築移転

31 中京病院




☎052-691-7151 病床数 661床
〒457-8510
愛知県名古屋市南区三条1-1-10

- 高度救急医療を担う救命救急センター
- 充実したがん診療、がんゲノム医療の提供
- 超急性期に特化した新棟を2025年に開設


32 四日市羽津医療センター




☎059-331-2000 病床数 226床
〒510-0016
三重県四日市市羽津山町10-8

- 二次救急輪番制指定病院・地域医療支援病院
- 予防医療(年間約10万件の健康診断を実施)
- 急性期から在宅医療までシームレスな医療展開

近畿四国地区



23 山梨病院




☎055-252-8831 病床数 168床
〒400-0025
山梨県甲府市朝日3-11-16

- 早く見つけて早く治す(健康管理センター)
- 胃癌克服まで42日(消化器病センター)
- 女性に優しい医療(婦人科外来・乳腺センター)

東海北陸地区



24 高岡ふしき病院




☎0766-44-1181 病床数 199床
〒933-0115
富山県高岡市伏木古府元町8-5

- 地域包括ケアシステムにて、回復期医療と在宅医療に重点を置いた地域のニーズに沿った診療の実践

33 滋賀病院




☎077-537-3101 病床数 325床
〒520-0846
滋賀県大津市富士見台16-1

- 地域医療への積極的な取組
- 予防・治療・介護・在宅療養支援を提供
- 県下最大規模の透析施設を有する

34 京都鞍馬口医療センター




☎075-441-6101 病床数 300床
〒603-8151
京都府京都市北区小山下総町27

- 包括協定に基づく大学との密接な連携
- スポーツ外傷・高齢化に適応したリハビリを展開
- 地域包括ケア病棟・訪問看護を活用した地域との連携

35 大阪病院




☎06-6441-5451 病床数 565床
〒553-0003
大阪府大阪市福島区福島4-2-78

- 低侵襲かつ最新の高度医療を提供
- 小児医療を含む24時間救急医療に対応
- 診療の特色を打ち出し地域住民の未来に貢献

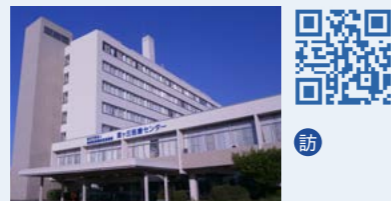
36 大阪みなと中央病院



06-6572-5721 病床数 275床
〒552-0003
大阪府大阪市港区磯路1-7-1

- 大阪市港区唯一の公的病院
- 2019年9月新築移転・駅直結の好立地
- 美容医療センター開設等新規事業の取組

37 星ヶ丘医療センター



072-840-2641 病床数 580床
〒573-8511
大阪府枚方市星丘4-8-1

- 地域の基幹病院として、予防・早期発見
- 救急から、急性期、回復期リハ、在宅、訪問、緩和ケアまで切れ目のない医療を提供

38 神戸中央病院



078-594-2211 病床数 389床
〒651-1145
兵庫県神戸市北区惣山町2-1-1

- 循環器・脳卒中、整形外科は救急対応可
- 生活習慣病、がんについて高度医療を提供
- 健診、地域包括ケアにかかわる施設も充実

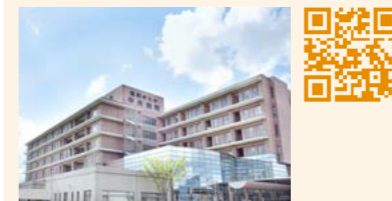
47 久留米総合病院



0942-33-1211 病床数 175床
〒830-0013
福岡県久留米市柳原町21

- 乳がん集学的治療 婦人科 女性外来・病棟
- 整形外科スポーツドクター専門は足・膝関節
- 消化器内科・外科の高度な医療を提供

48 福岡ゆたか中央病院



0949-26-2311 病床数 162床
〒822-0001
福岡県直方市大字感田523-5

- 地域に寄り添い、地域とともに
- 安心して生活できる地域づくり
- 患者さんの立場に立った医療の提供

49 佐賀中部病院



0952-28-5311 病床数 160床
〒849-8522
佐賀県佐賀市兵庫南3-8-1

- 医療、保健、福祉を切れ目なく提供
- 1次、2次救急医療を得意とし、皆様の健康の良き相談相手を目指す

39 大和郡山病院



0743-53-1111 病床数 223床
〒639-1013
奈良県大和郡山市朝日町1-62

- 近鉄郡山駅から徒歩1分・アクセス抜群
- 市内で唯一の産科・小児科入院施設を有する地域医療を大切にする大和郡山市唯一の公的病院

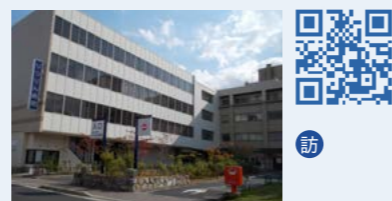
40 玉造病院



0852-62-1560 病床数 214床
〒699-0293
島根県松江市玉湯町湯町1-2

- 人工関節センター・脊椎外科センター設置
- 全病棟365日リハビリテーションを提供
- 地域医療拠点病院として地域医療に貢献

41 りつりん病院



087-862-3171 病床数 199床
〒760-0073
香川県高松市栗林町3-5-9

- 急性期及び回復期医療を提供
- かかりつけ医及び高度急性期病院との連携
- 地域・職域の疾病予防や健康づくりの支援

50 松浦中央病院



0956-72-3300 病床数 67床
〒859-4594
長崎県松浦市志佐町浦免856-1

- 患者さま家族のみなさまして地域の方々の健康向上と素敵な笑顔を守るため、良きパートナーシップに努める

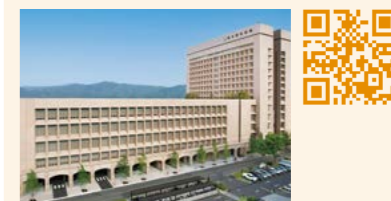
51 諫早総合病院



0957-22-1380 病床数 323床
〒854-8501
長崎県諫早市永昌東町24-1

- 救急を中心に地域医療を担う中核的総合病院
- ダウインチなど最新の医療機器を導入
- 高度な医療の提供

52 熊本総合病院



0965-32-7111 病床数 420床
〒866-8660
熊本県八代市通町10-10

- 質の高い高度医療で地域医療に貢献
- 石造りの堅牢な建物で癒しの医療を提供
- 夢とプライドが持てるまちづくりにも貢献

42 宇和島病院



0895-22-5616 病床数 199床
〒798-0053
愛媛県宇和島市賀古町2-1-37

- リハビリテーション専用プールを完備
- 最小侵襲手術による人工関節手術を実施
- 予防から医療、介護支援までサポート

43 高知西病院



088-843-1501 病床数 154床
〒780-8040
高知県高知市神田317-12

- 回復期リハ病棟での充実したリハビリ
- 健康管理センター併設による各種健康診断
- VAセンター、人工透析の実施



53 人吉医療センター



0966-22-2191 病床数 252床
〒868-8555
熊本県人吉市老神町35

- 地域医療支援病院として地域の中核を担う
- 予防医療から急性期、緩和ケアにも対応
- 充実した医療機器を備え高度な医療を提供

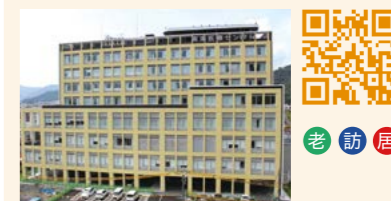
54 天草中央総合病院



0969-22-0011 病床数 155床
〒863-0033
熊本県天草市東町101

- 患者様に寄り添い、権利・尊厳を重視
- 地域で信頼される適正な医療を提供
- 日々研鑽し、医療水準の向上を目指す

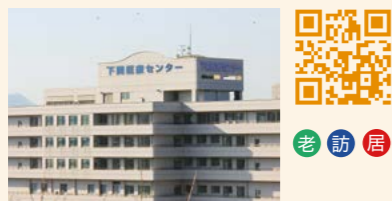
55 南海医療センター



0972-22-0547 病床数 195床
〒876-0857
大分県佐伯市常盤西町7-8

- 急性期医療を担う地域の中核病院
- がん医療・透析医療の中心的病院
- 災害拠点病院・地域医療支援病院

44 下関医療センター



083-231-5811 病床数 315床
〒750-0061
山口県下関市上新地町3-3-8

- 地域医療の中核を担っている病院
- 併設健康管理センターで各種検診を実施
- 老健施設・訪問看護を併設

45 徳山中央病院



0834-28-4411 病床数 519床
〒745-8522
山口県周南市孝田町1-1

- 高度急性期・急性期医療を提供
- 5疾病・6事業の全てに対応
- 安全で良質な医療の提供

46 九州病院



093-641-5111 病床数 575床
〒806-8501
福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1

- 高度急性期医療を主体とした総合病院
- がん、循環器、小児・周産期、救急
- 「愛と信頼そして納得」の医療と社会貢献

56 湯布院病院



0977-84-3171 病床数 199床
〒879-5193
大分県由布市湯布院町川南252

- 整形外科症例に幅広く対応
- 訪問看護や通所リハビリで在宅生活を支援
- 温泉プールも利用したリハビリを提供

57 宮崎江南病院



0985-51-7575 病床数 269床
〒880-8585
宮崎県宮崎市大坪西1-2-1

- 地域医療支援病院として地域医療に貢献
- 老健、訪問、リハ、健診とシームレスな医療
- 安心な医療で地域の笑顔を支える



独立行政法人
地域医療機能推進機構

Japan Community Healthcare Organization

〒108-8583 東京都港区高輪 3-22-12
TEL:03-5791-8200 FAX:03-5791-8258
<https://www.jcho.go.jp/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。